

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地（電話六三〇番）印刷所 常盤毎日印刷所

正一部金貳錢 廣五號十二行 刊日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三番

價一月五圓 告五字一圓 刊日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三番

刊夕日八十月一

新築移轉
耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
平町南町（舊診療所向）電話一七〇番

大和田醫院

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 **西村屋藥舖**
平町二丁目（電三）

各科專門

內科 醫學博士 難波 睦
外科 醫學博士 中西 林藏
產婦人科 醫學博士 氏家 憲次
耳鼻咽喉科 醫學博士 井上 俊次郎
×光線科 醫學博士 渡部 貞助
衛生試驗所 醫學博士 難波 慶造
藥局 局長 小西 英夫
本院醫事 法學士 岡本 孝平
本院醫事 法學士 賀澤 忠治

共濟病院内
救病氣生試驗所
共濟病院は皆さんの病院であります
御氣付のことは御注意を願ひます

◎入院自炊ノ便アリ
◎看護婦見習募集

共濟會
平町（電話六四一番）

御進物には
ヤマフルの商品券が一番

醬油味噌
たひら正宗
鯉節 食料品

鹽屋
金山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部）一〇番
電話（醸造工場）二七番

舊歲末年始
大賣出し

平町の尖端に起つ金解直段
にて大勉強仕り御來店の御
客様には洩れなく名入大ゴ
ム風船を呈上仕り候

森下商店
平町一丁目
電話八六〇番

眼鏡
トキハヤ
平町二丁目

何んでも揃ふ
買いいい店

コクタイ 三幸堂
平二丁目

各種
體温計
寒熱計
電圧計
電圧計

大藥局
電話三〇番

洋食
喫茶會
仕出し

一品金廿錢ヨリ
定食壹圓ヨリ
靜かな日本間有ます
出前は特に勉強致します

コック見習
女中募集

金
春

電話六六六番
驛前新道通り

原齒科醫院
平町土橋通り電話三二番

長女信子病氣の處本日午前三時
半死去候間此段御通知に代へ謹
告仕候

追而來る十九日午後四時自宅出棺菩提院
に於て葬儀執行仕候尚午勝手御香奠其他
の御贈物堅く御辭退申上候

昭和五年一月十八日
父 大森 勇

花柳科專門
木村外科醫院
入院自炊の便あり

平町五丁目橋際
電話三〇九番

外科專門
光線科
入院應需

上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

貸家案内

柳町 勤人向 四、五〇
全 全 六、五〇
仲間町 商店向 八、〇〇
舊城跡元 勤人向 八、〇〇
菅の澤 同 五、〇〇

加藤營業所
白銀町（電話三二番）

喫茶部開設

愈々理由書を發した 水道擴張起債案

善良なる三萬町民を迷はさんとあらゆる苦肉の策を施して反對を敢て高唱してゐる水道起債案に對する野崎滿藏氏一派の態度は一般の物笑ひになつてゐるは歴記の如くであるが餘りに執拗さに稍々もすれば懸念を抱く者もなきにしも非ざる向を考慮して要求をなすものあるので町役場では反對派の意見に乗せられざる様且つ擴張の理由を充分納得して向後に處する様左記項目に分けて詳細の説明を加へ

勇敢なる自動車 海中に飛込む

江名瀧口のトラツクが築港附近での大冒険なり本日より二日間平町元商業學校に於て全國新聞雜誌書籍書畫展覽會を開催してゐるが希望者には即賣すと

石城郡江名町大字中の作瀧口自動車部の運轉手高岡四郎(三)は去る十六日午後二時頃同町築港倉庫より石油罐を積んで自動車を連轉し同築港の沿岸を通行中突然ハンドルに故障を生じた爲め高さ六尺餘りの堤防より海中に墜落したのを附近に働いてゐたものが發見救助したが幸ひ負傷が無かつた

新聞書畫展 今明二日商校で

石城郡内郷村大字宮字金坂四五小名濱町生れ柳内松太郎長男次男(三)假名は去る十四日午後六時半頃隣家の茅根市太郎方で市太郎入浴中妻ミツが便所に行つた隙

隣家で盗む 太い少年

平署員に捕る石城郡内郷村大字宮字金坂四五小名濱町生れ柳内松太郎長男次男(三)假名は去る十四日午後六時半頃隣家の茅根市太郎方で市太郎入浴中妻ミツが便所に行つた隙

さて油斷のならぬ 未恐ろしの盜癖少年

他人の月給袋を奪つて友人と買喰へして捕はる石城郡磐城炭礦坑夫長屋二八號居住多賀光三の内縁の妻島田タキノの私生子勇(三)假名は去る十日午後二時頃内郷村大字宮字平太郎三一小川松太郎の娘アサ(二)が父松太郎の會計金二十二圓六十六錢を同炭礦會社より受取り歸途同村字町田販賣所にて菓子を買ふ中店頭板の上に置いたのを隙を伺つて窃取し勇の友人武田義雄(假名)及川台芳郎(假名)濱三郡木炭同業組合の代議

を伺ひ座敷にあつたオーバーのポケットより黒革のシューズを窃取し中より五圓紙幣二枚を抜取りシューズ

由來を深く秘めた 夏井配寺塔跡を

史蹟名勝記念物に指定 縣から保存方を通牒さる石城郡夏井村の夏井配寺塔の跡はこの後史蹟名勝天然記念物保存法によつて指定され同村に保存方の通牒があつた、配寺塔の跡は一の礎石にして

配寺跡

の徵證を殘せるものであるが之は奈良時代に這入つて陸羽の國に併合さるゝと雖も右手東奥の咽喉を扼し左手は中央を牽制するの位置にあり右の國名を配するの後も

依然こ

して政治經濟の中心をなせるこの地に時の諸國の國分寺建設の悲願を酌みて靈場を開設するに至つたものでこの遺跡は史上に記載を欠くと雖も聖武帝の國分寺創建發願の國分寺以前を證するものとして特に託意を要するものと



蒸カステラ

卵、砂糖、メリケン粉を四十分目量にして手のり少々

を川に投じた事を平署員が探知し昨日同署に引致して取調べをなした

坑夫の稼ぎ高 百七十餘圓

實は盗んだもの石城郡内郷村大字宮高坂坑夫長屋居住東京府北多摩郡砂川村生れ後山夫山川作之助(三)は去る一月二日間炭礦長屋居住中山仙吉方より霜降二重廻し價格十八圓を窃取したを手始めに各所に於て現金衣類等を窃取し其の數七件價格百七十圓に達してゐるが此程平署員大谷の兩巡查が探知昨日逮捕し目下取調べ中

平町人事

△出生 新川町一六 佐治佐四郎氏二女 雄 子 △番匠町四〇 赤津三太郎氏五男 雄 △北日町六六 箱崎崎一兵三男 雄 △白銀町四五 安齋彌藏氏六女 雄 △三丁目一八 永木仁平氏(二四)飯野村大字中山字柳町 北野マサ(二二) △死亡 仲間町六五 猪狩總次郎(七二)

指環 時計常盤屋

だものをかける、これもセイロに入れて四十分位むす 〇小供の鼻汁に注意 お寒くなりますと、よく鼻汁をたれるお子様方をお見受致しますがお氣をおつけになりませんか鼻腔デフラリーを知らずにあつて大騒ぎなすつても間に合ないことがよくございます

メリケン粉を篩にかけてお、卵は黄味と白味とわけ黄味に砂糖を加へてすりませ、黄味が白くなる程すれた時、黄味四つ分泡を立てたものと粉の篩つたものと軽く割らないやうにまぜる、カステラ形の中にバターをしきその中に種を七分位入れ青のりを焼きもん

三人組んだ 自稱大盡

無錢飲食で御用石城郡内郷村大字白水字濱井場五十嵐政吉方後山夫茨城縣鹿島郡取訪村生れ小橋泰助(三)同香川縣三豊郡吉澤村生れ田中宇吉(三)並に同伊達郡小國村生れ菅野友喜(三)の三名は去る十五日午後十時頃石城郡内郷村綴字一の坪飲食店鷺澤清方に於て酌婦鈴木ミヨ(三)を相手に飲めや歌への大盡遊びをなしたがいざ勘定となると右三名共懷中無一物なので主人鷺澤は憤慨し七日平署に無錢飲食の告訴をした

幹部移動

平消防組は第三部長小頭諸橋守次氏が依願退職したので伍長高根澤長太郎氏を小頭に任命し同時に一般幹部の移動を左記の如く決

募集

文藝其他投稿を募集します 松小頭酒井清、同伍長田中宣治、腕用柳筒主任伍

幹部移動

小頭諸橋氏退職 平消防組は第三部長小頭諸橋守次氏が依願退職した